

バンド活動を通しての居場所づくり

取組の背景・目的

東大井児童センターは18年前に「バンドをやりたい!」という中学生の言葉からバンド活動支援が始まりました。当時は他館からの楽器の借用や、メンバーが楽器を持ち寄ってバンド活動をしていました。そして、楽器や環境が整った今では、バンド活動を始めた頃の子どもが、講師として新しい世代の子もたちに楽器の演奏を教えに来ています。

令和2年に、コロナの感染拡大防止のため、区内の児童センターの利用制限があり、バンド活動が4年間中断し、利用制限がなくなってもバンド活動をする子どもはいませんでした。そこで、再び、バンド活動を通して子どもの居場所づくりを目的に楽器体験の取り組みをはじめました。

取組の概要

実施名称	「楽器体験」「サマーROCK」「クリスマスROCK」
実施場所	「東大井児童センター スタジオ・ゆうぎ室」
実施期間	毎月第2・4水曜日 15:30~17:00 (講師指導) それ以外の日は職員と一緒に体験をすることが出来る。 夏休み期間中 1週間通しての楽器体験 (講師指導)
参加対象	小学1年生~高校3年生
講師	バンドOB・講師不在時は職員
内容	楽器体験、バンド練習 発表会

工夫点・留意点

コロナが収束し、児童センターの利用制限が解除されると同時に「楽器に触れてみる」というコンセプトで一人での体験も可能にした「楽器体験」を始めました。少しずつ人数が増えてきたところで、毎月課題曲を決め、月1回の「あわせちゃOH!」の日に合奏することにしました。「あわせちゃOH!」では、各自が練習した楽器でみんなで合奏する楽しさを体感してもらいました。その日に来館している利用者もカスタネットやタンバリン、歌等即興で参加してもらい、一緒に音楽を楽しみました。

令和4年9月に仮設運営だった児童センターが本設に移り、新しいスタジオに、近隣の中高生がバンド練習をしたいと来館するようになり、中高生の居場所として知られていきました。夏休みには一週間通して講師を呼び、バンドに興味のない子も楽しめるようにとゆうぎ室で楽器体験をできるよう工夫しました。中高生がサブ講師をかってでて、楽器体験の補助をするようになりました。徐々に楽器体験が定着してきたところで、子どもた

ち同士が声を掛け合い、セッションに取り組みました。その後中高生から「ライブがしたい!」と話があり、練習している小学生にも声をかけ、令和5年の夏休みに「サマーROCK」を開催しました。ライブの様子を見た子どもたちの心に火が付き、その後いくつもバンドが誕生しました。そして、子どもたちのバンド活動がさらに盛り上がり、12月には、中高生実行委員会が企画した「クリスマスROCK」を開催しました。実行委員が自主的に、ポスターや照明、音響、司会などを担当しました。



楽器体験

あわせちゃOH!

サマーROCK

クリスマスROCK

取組の効果

「楽器体験」を始めた当初は「あわせちゃOH!」をきっかけに、楽器に興味を持つ子どもが徐々に増え、友だちと音を合わせる楽しさを知った子どもたちが、バンドを組むようになりました。「サマーROCK」では小学生2バンド、中高生1バンドが出演し、観客の温かい応援と拍手に包まれたライブとなりました。出演した子どもたちからは日々の成果を発表する場ができ、達成感が感じられ、その上、ライブを見た子どもが刺激を受けてバンドを組み、「クリスマスROCK」につながりました。「クリスマスROCK」では小学生6バンド、中高生3バンド、ゲスト1バンド総勢10バンドが出演し、観客を含めると150人以上が参加しました。出演者やスタッフとして参加した子どもたちも他校・他学年の垣根を越えて力を合わせ、「クリスマスROCK」という一つのイベントを作り上げました。

また、学校になじみず登校を渋る子どもも、自分の好きな曲を友だちと演奏する楽しさを知り、バンド活動を通して自己表現をしています。

バンドを通してつながった仲間と、バンド以外で遊ぶ姿も見られるようになり、児童センターが仲間と集まることの出来る『居場所』となっています。

課題・今後の展開

今後は、子どもたちのバンド活動の発表を定期的実施し、子どもたち同士の絆を深め、バンドだけでなく子どもたちの「やりたい!」「やってみたい!」を実現できるよう支援していきたいと考えています。

また、地域の中の児童センターとして、地域の方々に、児童センターが子どもたちの『居場所』として認識していただけるよう取り組んでいくことが今後の課題の一つです。

また、18歳になり高校を卒業する子どもたちには、ボランティアとして児童センター事業をサポートする立場になり、来館する小中学生が気軽に話ができる、教えてくれる憧れの先輩として活躍する場をつくっていききたいと思います。